

登録番号 第 22435 号

MIC ペンコゼブ®フロアブル

特長： ●多くの病害に対して優れた予防効果を示します。
●薬液調製時に粉立ちがなく、散布後の果面の汚れが目立ちません。

有効成分	マンゼブ（化管法第1種）・・・28.0%	包装	500ml×20
その他化管法該当成分	ヘキサメチレンテトラミン（化管法第1種）・・・1.2%		
性状	黄色水和性粘稠懸濁液体	有効年限	3年
毒性	普通物*	危険物	-

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用病害及び使用方法】

2020年12月9日付内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	マンゼブを含む 農薬の総使用回数
ぶどう	べと病 黒とう病 晩腐病 褐斑病	1000倍	200～700 L/10a	収穫45日前 まで	2回以内	散布	2回以内
うめ	黒星病 かいよう病 すす斑病	1000倍	200～700 L/10a	収穫21日前 まで	3回以内	散布	3回以内
きゅうり	べと病 炭疽病	500～1000倍	150～300 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
	褐斑病	500倍					
トマト	疫病 葉かび病 輪紋病 すすかび病	1000倍	150～300 L/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
ミニトマト	疫病 葉かび病 輪紋病 すすかび病	1000倍	150～300 L/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
メロン	べと病	500～600倍	150～300 L/10a	収穫7日前 まで	5回以内	散布	5回以内
	つる枯病	500倍					
すいか	つる枯病 炭疽病	600倍	150～300 L/10a	収穫7日前 まで	7回以内	散布	7回以内
キャベツ	べと病	500～600倍	150～300 L/10a	収穫30日前 まで	3回以内	散布	3回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	マンゼブを含む農薬の総使用回数
ねぎ	黒斑病 さび病 べと病	500～600 倍	150～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
さやえんどう	褐紋病 褐斑病	500 倍	100～300 L/10a	収穫開始 30 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
実えんどう	褐紋病 褐斑病	500 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
きく	白さび病	800 倍	100～300 L/10a	発病前 ～発病初期	8 回以内	散布	8 回以内

使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (2) 薬液調製時にはボトルを良く振ること。
- (3) 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけること。
- (4) ボルドー液との7日以内の近接散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけること。
- (5) 極端な高温多湿条件下では、軟弱幼苗に薬害のおそれがあるので注意すること。
- (6) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (7) 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節すること。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2) 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (3) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (4) かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけること。
- (5) 夏期高温時の使用をさけること。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

通常の使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項

直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。